

総義歯装着の翌月に「入れ歯が外れる」という主訴で、糖尿病の患者が来院され、総義歯の調整をしました。



総義歯の調整を行った場合

再診料＋外安全 1， 外感染 1	62 点 〈 6 分〉
歯リハ 1 (困難)	124 点 〈10 分〉
診療録記入	0 点 〈 5 分〉

合計 〈21 分〉 で、186 点 → **1 時間あたり 5,310 円**

» さて、あなたは どうしますか？

- ☐ 私の作った総義歯でこんなことはあり得ない
- ☐ マッサージに転職する
- ☐ 時間短縮を図る
- ☐ 消耗品の支出を抑える
- ☐ 人件費の安い若手にさせる
- ☐ 自費治療にする
- ☐ 難症例として他所へ紹介する
- ☐ 義歯修理の点数を算定する (?)
- ☐ 「医は仁術」と我慢する
- ☐ 患者の喜ぶ顔を見ればそれでいいのさ

» 本当にそれでいいのですか？



そうだ！

高齢者は口腔機能が低下しているので、**口腔機能低下症**と診断したら、歯管が算定できるぞ。そしたら、総合医療管理加算（総医）も算定できる！（→ p.48 「CASE 無歯顎患者への対応」参照）



よしやろう！

歯が 0 本だから、かならず 1 項目は該当するぞ。



口腔機能管理と総合医療管理加算を行った場合（検査は前回算定済み）

歯科疾患管理料	120 点 〈3 分〉
口腔機能管理料＋口管強	110 点 〈2 分〉
総合医療管理加算	50 点 〈2 分〉
診療録記入（増加分）	〈2 分〉

合計 9 分の追加で 280 点増加

総計 30 分で 466 点 → **1 時間あたり 9,320 円**

※義歯調整のみのときは、1 時間あたり 5310 円



これでやっと採算がとれる！

同じ患者さんでも、全身状態や実働時間を考慮すると、算定項目にも違いがでてきそうですね。



算定に必要な知識

算定までの全体の流れ

■ 1. 患者来院

- 問診票のチェック（総医，医管に対応した問診票を作成しておく）
- お薬手帳のチェック（お薬手帳を持参すべきことを周知しておく）
- 医療面接とカルテの記載

■ 2. 総医病名 8，医管病名 15，その他病名の有無のチェック

⇒カルテホルダー左上に病名のシールを貼る（→ p.36 参照）

● 総医病名があれば

⇒総医病名の医療機関・主治医の把握

（医療機関リストの作成，同送する自己紹介・あいさつ文を事前に作成）

⇒照会状作成（情共 120 点算定），FAX 送信

● 医管病名があり，該当処置を行うときは

⇒血圧，脈拍，SpO₂ 測定（医管 45 点算定）

（病名に対応した対処法に準じて治療を行う）

■ 3. 次回来院まで

● 医科からの照会状の返信があれば

⇒総医病名のシールに医療機関名記入（→ p.37 参照）

⇒カルテやメモに照会状の回答の概要を記入

■ 4. 次回以降の来院時

● 総医の情報があれば

⇒歯管算定時に総医 50 点算定（病名に対応した対処法を把握しておく）

⇒糖尿病があれば歯周病安定期治療にハイリスク加算 80 点算定

（糖尿病患者における歯周病に対応した対処法を把握しておく）

● 照会状送付から 3 か月以上が経過し，必要があれば

⇒再度，照会状を送付（情共 120 点算定）

● 問診票記入時から一定期間が経過した場合には，

⇒再度，問診票に記入してもらい変化をチェックする

問診票のチェック

まず，総医や医管の病名やその他の重要な病名を把握できる問診票を作成しておきます。病名の部分を示します（図 1）。

当院では、安全な歯科治療のために、患者様の全身状態を定期的に把握させていただきます。ご記入のほどよろしくお願いいたします。

お名前:	日付:
該当するものに✓をお願いします。 □なし	
☐ 骨粗鬆症の薬(_____) ☐ 感染性心内膜炎 のリスクのある心臓病 ☐ 関節リウマチ ☐ 血液さらさらの薬(抗血栓薬) ☐ 認知症 ☐ 神経難病(パーキンソン病など) ☐ 糖尿病(HbA1c:_____) ☐ 高血圧(_____/____mmHg) ☐ 狭心症 ☐ 心筋梗塞 ☐ 不整脈(☐ ペースメーカー) ☐ 心不全 ☐ 脳卒中 ☐ ぜん息 ☐ 慢性気管支炎 ☐ 甲状腺機能低下症 ☐ 甲状腺機能亢進症 ☐ 副腎皮質機能不全 ☐ てんかん ☐ 慢性腎不全(☐ 腎透析) ☐ 睡眠時無呼吸症候群(☐ CPAP 使用) ☐ 肝炎(____型) ☐ 肝硬変 ☐ 高脂血症 ☐ アレルギー(_____) ☐ 妊娠 (____力月) ☐ 授乳中(お子さんの年齢____ヶ月) ☐ 喫煙 (1 日____本) ☐ 歯科治療でのつらい経験(_____) ☐ その他(_____)	通院中の医院 (主治医)

 さとう歯科医院 20240611

図 1 総医，医管に適した問診票の例

この問診票は発展中であり，右下にバージョン管理のために用紙作成日を小さく記入しています。

レセコン連携「紹介状作成機能」の活用

照会先や患者基本情報を手書きで入力するのは手間です。そこで当院では、レセコンのオプションで「紹介状作成機能」を導入しました。メーカーにより操作方法はさまざまですが、例を示します（図5）。

1. 患者を選択し、「紹介状作成」を選ぶ。
2. あらかじめ作っておいた「ひな形」を選ぶ。
3. 入力しておいた「医療機関リスト」から照会先を選ぶ。
4. （複数人いる際は）担当医を選び、歯科病名と全身疾患にチェックを入れる。

図5 レセコン機能での紹介状作成画面

ただし、問題点もあります。

- 「照会状」ではなく、「紹介状」になってしまう（図6）。
→ 「照会状（診療情報共有）」というシールを作成し、上から貼る。
- 当院規定の B5 サイズに印刷すると、文字が小さくなる。
- 必ず「控え」も印刷されるが、FAX 送信の場合は控えは不要
- 各項目の項目名や枠の大きさが調整できない。

レセコンメーカーには改善をお願いしていますが、すぐにはどうにもなりそうにありません。しかし、これにより大幅に労力が減りました。先生がたが使用されているレセコンはさまざまでしょうから、それぞれに工夫を凝らしてください。

紹介状

（診療情報提供書）

令和 7 年 2 月 8 日

紹介先医療機関

東広島市立センター

地域連携室御中

FAX: 082-482-4488

紹介元医療機関

名称 医療法人社団裕穂会 さとう歯科

所在地 広島県東広島市八本松南2-2-8

TEL 0824-28-5505

医師名 佐藤 裕二

印

フリガナ	佐藤 裕二	様	昭和 33 年 2 月 3 日生 (67 歳)	男
患者氏名	佐藤 裕二	様	昭和 33 年 2 月 3 日生 (67 歳)	女
患者住所	〒733-0288 広島県東広島市八本松南2-2-8			
				TEL 0824-28-5505

傷病名	☒ 歯周病 ☒ 齲蝕 ☐ 歯の欠損 ☒ 顎関節症 ☐ 睡眠時無呼吸
紹介目的	平素より大変お世話になっております。お手数をおかけしますが、下記疾患（歯科治療の総合医療管理の対象）の状況や歯科治療における特別な注意点がございましたらご指導ください。なお、観血的歯科治療を行う場合には詳細に関してお聞きすることがありますので、その際はよろしくお願いいたします。
症状経過 検査結果 治療経過	【当院で把握している全身疾患・状態】（漏れがあれば✓の追加をお願いします） ☐糖尿病 ☐骨吸収抑制薬投与中 ☐関節リウマチ ☐感染性心内膜炎のハイリスク疾患 ☐抗血栓薬投与中 ☒認知症 ☐神経難病（パーキンソン等） ☒その他（ 高血圧 ）
【既往歴・家族歴】	【先生からのご回答欄】（下記のどちらかの□に✓をお願いします） ☐上記にない疾患・状況や上記疾患を含めた特別な注意点あり お手数をおかけしますが病状の概要をご教示頂けますと幸いです。 ☐全身疾患・状態は上記の通りであり、歯科治療で一般的な注意事項に従う →この場合でも病状の概要をご記入頂けますと助かります。
現在の処方	先生のお名前： _____
備考	2024年6月より、保険改定により歯科から医科への問い合わせがFAXでも可能となりました。患者様のご了解はいただいております。 ご多忙の所、恐縮ではありますが、こちらの用紙にご回答後、郵送（B010-2 診療情報連携共有料120点算定可）または 082-428-8966 までFAXをお願い致します。

図6 レセコン連携機能で作成した紹介状の例